

年代	50代	
主な活動拠点	北播磨	
団体名	NPO 法人 北播磨市民活動支援センター うれしの生活創造プラザ「生活創造応援隊」 北播磨県民局地域づくり活動サポーター	
氏名	向山 良子 (ムコヤマ ヨシコ)	
連絡先	T E L	0794 - 63 - 8156
	F A X	0794 - 62 - 2400
	E-mail	mukoyama@ksks-arche.jp
活動の内容	<p>では、職員として勤務していますが、団体の設立目的が中間支援ですので、NPO 法人立ち上げ・運営の相談や支援をしています。この相談については、業務としてというより当法人の使命として、ほとんどの場合無料で相談を受けています。市民活動自立活性化のため、その仕組みづくりに取り組んでいます。</p> <p>では、「ぐぐっと！北播磨」という広報誌の企画・取材・記事を書くなど広報誌発行が主な活動です。</p> <p>では、連絡会議で地域の情報の収集や発信、活動紹介をしたり、いろいろな人や団体のつなぎ役になれるよう心がけ活動しています。</p>	
活動のきっかけ	<p>では、まつりのボランティアに参加したのが、この仕事に出会うきっかけでした。</p> <p>は、最初は推薦を受け参加したのですが、どちらも平成16年から続けています。</p>	
活動の頻度	<p>は、もちろん毎日</p> <p>は、月に1回～2回。その他に取材に行ったり、自宅で原稿を書いてメールでやりとりなどもあります。</p> <p>は、各施設への情報収集、月に1度の行事報告と活動報告。年6回の連絡会議への出席などがあります。</p>	
活動してよかったこと、困ったこと	<p>活動しての醍醐味は、やはり、なんと言ってもいろいろな人に出会える事です。同じ時代に生き、同じ地域に住んでいても出会える人はホンの僅か。新しい出会いの中で、いろいろな事を教えていただいたり、活動の輪が広がったり、感動をもらったり。これは、金銭に換えられない財産です。</p> <p>相談を受けていると、法人格をとったものの、会計や年度末の決算書や事業報告書の作成に悩む団体も多いのが現状です。会計については、専門性が必要です。知り合いの会計士の先生にお願いして、困っている団体の会計相談にのっていただいた結果、間違いなく執行されていることがわかり、また、いろいろな質問にも答えていただき、問題解決！「悩んで何日も眠れな</p>	

	<p>かったんです。」と言うその団体の会計担当者の笑顔を見たとき、やってて良かった！と思う半面、自分のスキルアップをもっと図らねば・・・と勉強不足を感じています。</p>
<p>思い出に残るエピソード</p>	<p>「ぐぐっと！北播磨」に掲載のため、ある団体の活動紹介の記事を私が書くことになり取材させていただいたのですが、私の書いた紹介記事をととても気にいってくださり、その後の団体紹介用にずっと使っていただいていることが心に残っています。</p> <p>それまで、原稿書きなどしたことがなかったので、締め切りも苦になり憂鬱でした。拙い文章に自信が無かっただけに、その後の編集活動に前向きに取り組める出来事となりました。</p>
<p>活動を始めたい人へのアドバイス</p>	<p>学校のPTAや地区の役員は、求められるままやってきたけれど、どれも受身。積極的に自分のやりたいことで、地域の役に立つことが出来れば・・・と思ったものの、資格も何もない平凡な主婦の私に何が出来るのか・・・自信もなかったし、どこへ行けば良いのか見当もつきませんでした。</p> <p>そんな時に隣の市でやっている「まつり」をテレビを見てビックリ！「まつり」と言えば、神事があり、「女人禁制！？」なんて大げさかもしれませんが「男性の為のモノ」という思いがありました。テレビで見たその「まつり」は、男性も女性も子どもも高齢者もみんなスターでした。「私の思う祭りは、これだ！」と思い、まつりのボランティアに足を踏み入れたことが活動のきっかけです。これに参画することになって、いろんな活動やいろんな人がいっぱいボランティアをしていることを知りました。</p> <p>また、自分の住む町のために何かしたいと思っている人もたくさんいる事を知りました。</p> <p>そんな方々の想いを“形”に出来る仕組みづくりをしたいというのが、NPO 法人北播磨市民活動支援センター設立のきっかけです。是非、当法人に一度お出かけいただき、みなさんの活動をご覧ください！興味のあることに出会えるかも！？お待ちしております。</p>